

いずもいわいじんじゃもろやままち  
[出雲伊波比神社(毛呂山町)]見学レポート

正面に見えるのが拝殿





拝殿







拝殿後方に本殿が見える























一番奥が本殿





正面奥が本殿



本殿入口の門



本殿、右は摂社



本殿(流造りの一間社)/国指定の重要文化財



大永八年(享祿元年(一五二八年))九月十五日毛呂三河守藤原朝臣顯繁再建

撰社



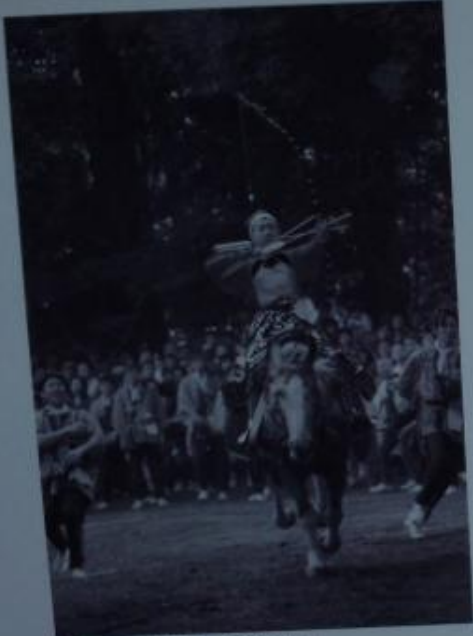
流鏑馬の里をめぐる

# 出雲伊波比神社のやぶさめ

出雲伊波比神社のやぶさめは、平安時代の後期、源頼義・義家親子が奥州平定のため当社にて戦勝祈願を行い、凱旋途中の康平六年（一〇六三）、再び立ち寄り、流鏑馬を奉納したのが起源と伝えられています。毎年十一月三日に行われる秋の流鏑馬は、毛呂山の晩秋の風物詩として親しまれています。

三つの当番区の三人の小中学生たちが乗り子となり、騎射を行う全国的にも珍しい民俗行事です。乗り子は約十日間、稽古、精進を重ね本番に臨みます。

流鏑馬は、午前の朝的、午後の夕的の二回行われ、特に夕的では、勇壮な騎射のほか、ムチ、ノロシ、扇子といった馬上芸が次々と披露され、凛々しい少年騎士たちの姿を見ることが出来ます。



埼玉県指定無形民俗文化財  
出雲伊波比神社のやぶさめ 夕的の騎射

平成二十二年九月

毛呂山町教育委員会

参道と平行するように流鏝馬道









疾駆する馬上から、二の的に向かって騎射する騎士

(インターネットより借用)

<http://www.kaiun-goriyaku.com/11j-007.htm>

<http://homepage3.nifty.com/youzantei/mitisirube/yabusame.html>